

春秋の叙勲・褒章、危険業務従事者叙勲、叙位叙勲を受章された市内在住の18人を対象とした叙勲・褒章等顕彰式典(市主催)が家族や関係者など多数の出席のもと市民芸術劇場で盛大に開催されました。

式典は、各受章者の功績紹介とスライド上映をはじめ市からの記念品・花束の贈呈等が行われ、知念恒男市長は「叙勲・褒章の受章は本人はじめご家族の名誉であるとともに、本市にとっても誇りです。お祝いを申し上げます」とあいさつを述べました。

また、受章者を代表し、石川修氏が「私たちは、この受章に恥じないよう市民の模範として行動するとともに、地域、市の発展に協力していきたいと思えます」と受章の喜びを述べました。

平成18年度叙勲・褒章等顕彰式典開催 2/21



▲ 受章者の皆さんによる記念撮影

地域文化や社会教育に貢献! 2/28



▲ 各賞の受賞者が市役所を訪れ市長へ報告しました

このほど2006年度の沖縄県文化協会賞を受賞したうるま市文化協会会員の皆さんが、市役所を訪れ知念恒男市長と前門幸雄教育長に受賞の喜びを報告しました。地域の伝統文化や芸術文化の向上に尽くした個人や団体に贈られるもので、市文化協会からは個人6人と1団体が受賞しました。また、社会教育功労賞では2人の方が受賞しました。各賞を受賞した個人、団体は次のとおり。(敬称略)

【沖縄県文化協会賞】

功労賞：前原正謙(書道)、大城朝徳(古典三線)、

真志喜栄子(華道)

奨励賞：座間味正子(華道)、新里光雄(古典三線)、

田場典住(盆栽)

団体賞：具志川吟友会(会長 長濱真順)

【沖縄県社会教育功労賞】

藏本秀吉、横田康枝



▲ 地元区民からの祝福を受け、挨拶する新川さん

目指すワールドカップ  
国際大会主審 3/12

日本サッカー協会(JFA)が、認定する女子サッカー1級審判員(国内30人の一人)に1月女性として県内で初めて認定された新川里佳子さんの祝賀会が、勝連平敷屋公民館で行われました。

祝賀会には新川さんのご両親をはじめ親戚や区民など多数が集い、県内初の偉業をともに祝いました。

今後、女子サッカー「なでしこリーグ」や多くの大会等で、審判を努める新川さんは「多くの方に応援してもらって励みになります。目標は、ゲームを面白くするのも審判の力が必要なので選手も観客も楽しめる試合ができるようにすること。夢はワールドカップや国際大会で主審として笛を吹くこと」と語りました。また「目標を持って努力すれば必ず自分の夢や思いを達成できるのであきらめないで頑張ってください」と子どもたちへエールを送りました。



▲ 新種のクロトンを囲む仲座重信さん(中央)と息子の威(左)さん

特許  
クロトンの新種で 3/12

新品種のクロトンを発見し、2月20日付けで「イエローウルマ オキナワ」の名で品種登録を行った、市字喜屋武に住む仲座重信さんと、息子の威さんが、市役所を訪れ知念恒男市長に喜びの報告を行いました。

観葉植物販売業を営む仲座さん親子によると、発見した当時は約40種のクロトンを栽培しており、その中から偶然に花粉が混じって生まれたものを大事に挿し木し、品種の安定を図ったとのこと。大きな葉に緑色と黄色の2色が混じり合い、美しいコントラストが特徴的です。